

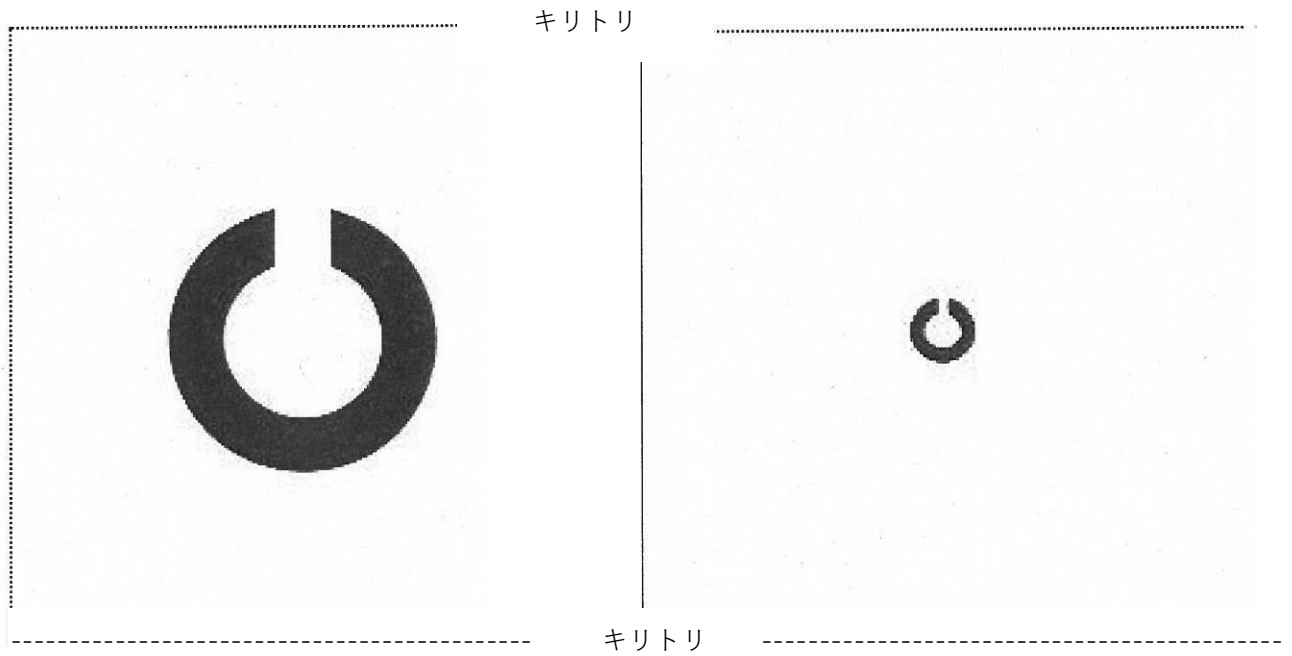
視力検査の方法

用意するもの

- 1.視標:右の頁の輪をそれぞれ切り取り、20 cm 四方くらいの白い紙にはります。
(図1を参考にして下さい。)
- 2.眼帯:ガーゼまたはティッシュペーパーを5 cm 位の大きさに折って、バンソウコウかセロハンテープで、のぞかれないようにしつかりとはって下さい。
- 3.距離を測るためのものさし、またはメジャー

検査の方法

- 1.楽に本が読める程度の明るい部屋で行います。
- 2.視力検査の練習をします。
 - ① 1m くらい離れて、大きい輪を見せます。両目を開けてします。
 - ② 切れ目の方向を指か手で示して答えさせます。また図2のような輪を厚紙で作ってお子さんに持たせ、輪の切れ目の向きを合わせる方法でも良いでしょう。
 - ③ 切れ目の方向は右、左、上、下の四方向とします。視標の向きを変える時は、必ず一度視標を隠してから変えて下さい。
 - ④ 1m くらいでできたら、2.5m (できるだけ正確に測って下さい) 離れて行って下さい。
 - ⑤ 両目を開けて、切れ目の方向を正しく答えられますか。
 - ⑥ 片目をかくす練習です。右目、左目をそれぞれ隠して答えさせて下さい。
- 3.検査をします。
 - ① 小さい輪を使い、2.5m で行います。
 - ② 両目で検査をします。上下左右の四方向を見せて、3方向以上正解したら見えたとします。
 - ③ 左目を隠して右目の検査をして下さい。見にくそうだったりいやがったりする時には、左目から検査して下さい。両目の時と同じように判定します。
 - ④ 続いて隠す目を変え、左(または右)の目を検査します。
- 4.両目、右目、左目それぞれの検査結果をアンケート用紙に記入して、健診の時にご持参下さい。



(2.5m用 0.5 と 0.1 の視標を正確に印刷すること。)

図1 視標の見せかた



図2 切れ目の答えかた



聴力検査の方法

【検査の時に注意すること】

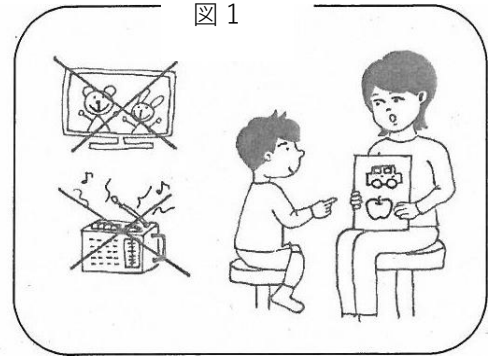
なるべく外を自動車などが通っていない時をみはからい、テレビやラジオを消して部屋を静かにしてゆったりとした状態で検査して下さい。

なお、検査の結果はアンケート用紙の項目の該当の枠内に 正しくできたものには○
誤っていたものには×を記入して下さい。

1. ささやき声による聞こえの検査(図1)

(この検査は、かすかな声がききとれるかどうかの検査です。)

- ① 絵を子どもの方向に向けて置き、1 m くらい離れ、向かい合い座ります。
- ② 「この絵の名前を言うから、お母(父)さんが言った絵を指さしてね。」と子どもに言って、普通の声(会話する時の声)で、絵シートの表示した絵の名前を言い、子どもが6個の絵をすべて正しく指せるようにします。
- ③ 「今度は小さな声で絵の名前を言うから、よく聞いて、指さしてね。」と子どもに言って、口元を手などで隠し、6個の絵の名前を、ささやき声で1回ずつ言います。正しく指せば○、正しく指せなければ×を記入します。



※注意事項

絵の名前を言うのは1回だけです。聞き返されても、繰り返し言わないでください。
また、ささやき声が大きくなるように注意してください。

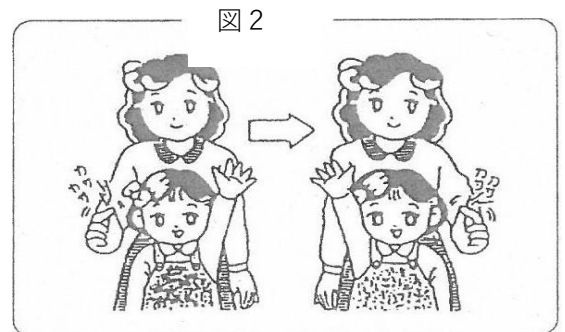
※ささやき声の出し方

ささやき声は、息を出すだけの感じで、ないしょ話のようにささやきます。普通の声は、のど(のどぼとけ)に手をあてたとき、指に振動が感じられますが、ないしょ話のようにささやくと振動は感じません。

2. 指こすりによる検査(図2)

(この検査は、カサカサした音がきこえるかどうかの検査です。)

- ① 親は子どもの後ろに位置します。
- ② 親は子どもの耳のま横に5 cm ぐらいのところ、親指と人さし指を5~6回こすります。
- ③ 子どもに「カサカサ」した音が聞こえたら、手を上げさせるようにします。
- ④ 最初は右、次に左というように、交互に行います。
なお、検査を行う時には、指を十分に乾かしてから行って下さい。



絵シート

